

# 京都府 教王護国寺 南大門（重要文化財） 柱材 江戸時代初頭



(スケール：実物の2/3)

慶長6（1601）年の建立であり、もとは蓮華王院（三十三間堂）の門であったものが移されたと考えられています。

柱材…ヒノキの柱材。部材に2か所「打刻印」が押されているます。この打刻印は、部材の輸送にかかわる印とされています。同時代の大阪府高槻城の建築材にも「打刻印」が押されており、当時の組織的な材の流通ネットワークがうかがえます。

